

『交通環境教育「コミュニティバスの役割」』

【啓明学園中学校 教頭 宮崎 善隆】

本校の中学生に交通環境教育「コミュニティバスの役割」を全校生徒へのアセンブリー2回(週1全校集会)を利用して実施する予定でした。しかし新型コロナウイルス感染症予防対策によりアセンブリーの時間も短くなり十分な教育活動を実施することが難しくなりました。そこで総合学習の時間などを使い1年生は4コマ、3年生は3コマ授業で実践しました。

公共交通事情について生徒が身近な問題として受け止め、交通環境について興味関心を持つことを目的に計画しました。はじめに、修学旅行先(岩手県雫石町)に運行するデマンドバスが、運行当初全国からバス運営についての調査等に町へ来られたお話を伺っていたこと。また醍醐コミュニティバスが、地域住民や地元企業から寄付を募りヤサカバスに運行業務を委託する全国初の「市民共同方式」として運行を開始した新聞記事を読んだこと。この2つを生徒と共に考えコミュニティバスの役割について学習したいと考えました。

授業の導入は、共に雫石町と京都市の現地調査の報告から始めました。授業の形態を「調べ学習」にしました。1年生は公共交通機関を利用した観光に取り組む京都市のバス路線地図を配り、PCを使い京都日帰り旅行をバスや地下鉄の乗車時間を記入した日程表を各自作成しました。3年生は自分の住む街や身近なコミュニティバスについてPCを使いレポート(内容:①バスの名前②走行場所③運行管理機関④歴史⑤利用者⑥料金⑦感想)にまとめました。レポートは学年掲示板に掲示して情報を共有しました。

1年生は旅行を計画する楽しさと難しさを感じながら京都のバス路線が充実に驚き、移動にバスの時刻表が重要であることに気付きながら取り組んでいました。3年生は環境を考えた電気バス、観光、福祉、路線がない地域など、様々な目的でコミュニティバスが運行されていることを発見していました。これからも公共交通機関の大切さに目を向けさせ、交通環境学習を進めていきます。



(授業計画)

授業……調査取材した2か所のコミュニティバスについて紹介、近年のバスなどの公共交通機関の現状について考えました。その後、中学1年生は京都日帰りバス旅行を考えレポートにまとめる。中学3年生は身近なコミュニティバスについて調べてレポートにまとめる、調べ学習に取り組みました。

中学1年・・・身近で便利なバスの存在に気付き、環境にやさしい旅行を計画する

1コマ目	雫石と京都のコミュニティバスについて紹介する 1、路線バスの経営が難しく廃止路線が増える現状を伝える 2、雫石町のコミュニティバスを紹介する 3、京都市の2つのコミュニティバスを紹介する 4、京都市の路線バスの地図を配り、京都市の取り組みを紹介する
2コマ目	日帰り京都旅行を考える 1、行きたい京都の観光地についてPCで調べる 2、京都市の路線バスの地図で効率の良い移動を考える
3コマ目	日帰り京都旅行の日程表を作成する 1、地下鉄、路線バスの時刻表の見方を学ぶ 2、各自のプランを日程表に時間も加えてまとめる
4コマ目	日帰り京都旅行のプランをレポートにまとめる 1、各自の旅行プランをレポートにまとめる 2、公共交通機関の有効性について考える 3、学年の掲示板に全生徒のレポートを掲示して情報を共有する

中学3年・・・コミュニティバスを含むバスの経営と交通弱者の公共交通機関の重要性について考える

1コマ目	雫石と京都のコミュニティバスについて紹介する 1、路線バスの経営が難しく廃止路線が増える現状を伝える 2、雫石町のコミュニティバスを紹介する 3、京都市の2つのコミュニティバスを紹介する 4、自分たちの住む町のバス路線に目を向け、コミュニティバスが身近に走っていることを確認する
2コマ目	自分の住んでいる地域のコミュニティバスについて調べる 1、PCを使って調べ学習をする 2、コミュニティバスの役割について考える
3コマ目	レポート作成 1、前回に続き調べ学習、レポートにまとめる 2、コミュニティバスについて調べた感想を書く 3、学年の掲示板に全生徒のレポートを掲示して情報を共有する